

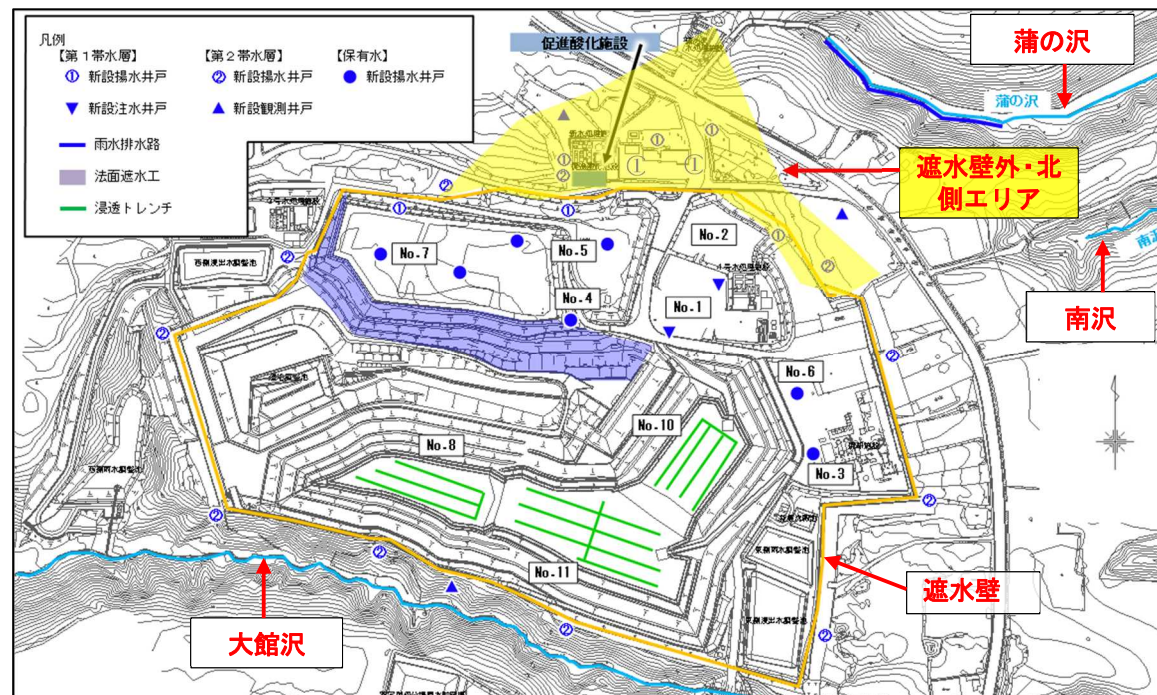
1 産廃特措法に基づく実施計画の概要

- 能代産業廃棄物処理センター（以下「センター」という。）の環境保全対策は、「特定産業廃棄物に起因する支障の除去等に関する特別措置法」（以下「産廃特措法」という。）に基づく特定支障除去等実施計画（以下「実施計画」という。）により、平成 16 年 11 月から実施している。
- 平成 24 年 8 月に、産廃特措法の期限が令和 5 年 3 月まで延長されたことなどから、変更実施計画を策定し、平成 25 年 3 月に環境大臣の同意を得て、汚水処理等の維持管理対策などを実施している。
- 平成 28 年度までに計画していた促進酸化施設等の施設整備は終了しており、現在は令和 2 年度に増設した 37 号、38 号揚水井戸等を用いた汚水処理や環境モニタリング等の環境保全措置を実施している。

事業実施のスケジュール

年 度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4
○ 汚水処理等の維持管理対策										
・ 汚染地下水の回収・処理										
・ 水処理施設（促進酸化処理）の新設										
○ 汚水拡散防止対策										
・ 揚水井戸の設置工事										
○ 場内雨水対策										
・ 雨水排水路、キャッピング等の整備工事										
○ 環境モニタリング										
・ 水質調査										

施設の整備実施状況



2 生活環境保全上達成すべき目標と滲出水の状況

- 実施計画では、センター周辺の沢から滲出している地下水（以下「滲出水」という。）のVOC（揮発性有機化合物）について、「令和 2 年度までに環境基準値を下回るレベルにする」ことを目標としていたが、蒲の沢滲出水の 1,4-ジオキサンの浄化が想定どおり進まなかったことから、環境保全対策部会や地元住民等に諮った上で、蒲の沢滲出水の目標達成時期を令和 4 年 9 月末（令和 4 年 7～9 月の測定値の平均値）に改めて設定した。
- 滲出水の 1,4-ジオキサン濃度は、環境保全対策の実施により低下傾向を示しているが、蒲の沢滲出水における令和 4 年 7～9 月の測定値の平均値は 0.095mg/L と、目標としている環境基準値（0.05mg/L）を僅かに超えている状況にある。
- 南沢滲出水における令和 3 年度の平均値は 0.042mg/L で、環境基準値まで濃度が下がっており、6 回測定したうちの 5 回は、環境基準値を下回っている（令和 4 年度の平均値は 0.026mg/L）。
- 大館沢滲出水における令和 3 年度の平均値は 0.042mg/L で、6 回測定したうちの 5 回は、環境基準値を下回っている（令和 4 年度の平均値は 0.029mg/L）。

令和 4 年度の蒲の沢、南沢及び大館沢の 1,4-ジオキサン濃度（実測値）

測定年月日	R4. 4. 14	R4. 5. 12	R4. 6. 2	R4. 7. 7	R4. 7. 21	R4. 8. 4	R4. 8. 18	R4. 9. 1	R4. 9. 15
蒲の沢滲出水	0.096	0.11	0.12	0.11	0.12	0.093	0.079	0.074	0.093
南沢滲出水	0.037	—	0.032	—	—	0.022	—	—	—
大館沢滲出水	0.040	—	0.049	—	—	0.026	—	—	—

測定年月日	R4. 10. 6	R4. 11. 10	R4. 12. 1	R5. 1. 5	R5. 2. 2	R5. 3. 2	7～9月平均値	年平均値
蒲の沢滲出水	0.081	0.096	0.081	0.077	0.073	未測定	0.095	0.093
南沢滲出水	0.026	—	0.020	—	0.021	—	—	0.026
大館沢滲出水	0.025	—	0.015	—	0.017	—	—	0.029

※令和 4 年度平均値は令和 5 年 2 月末現在の値。

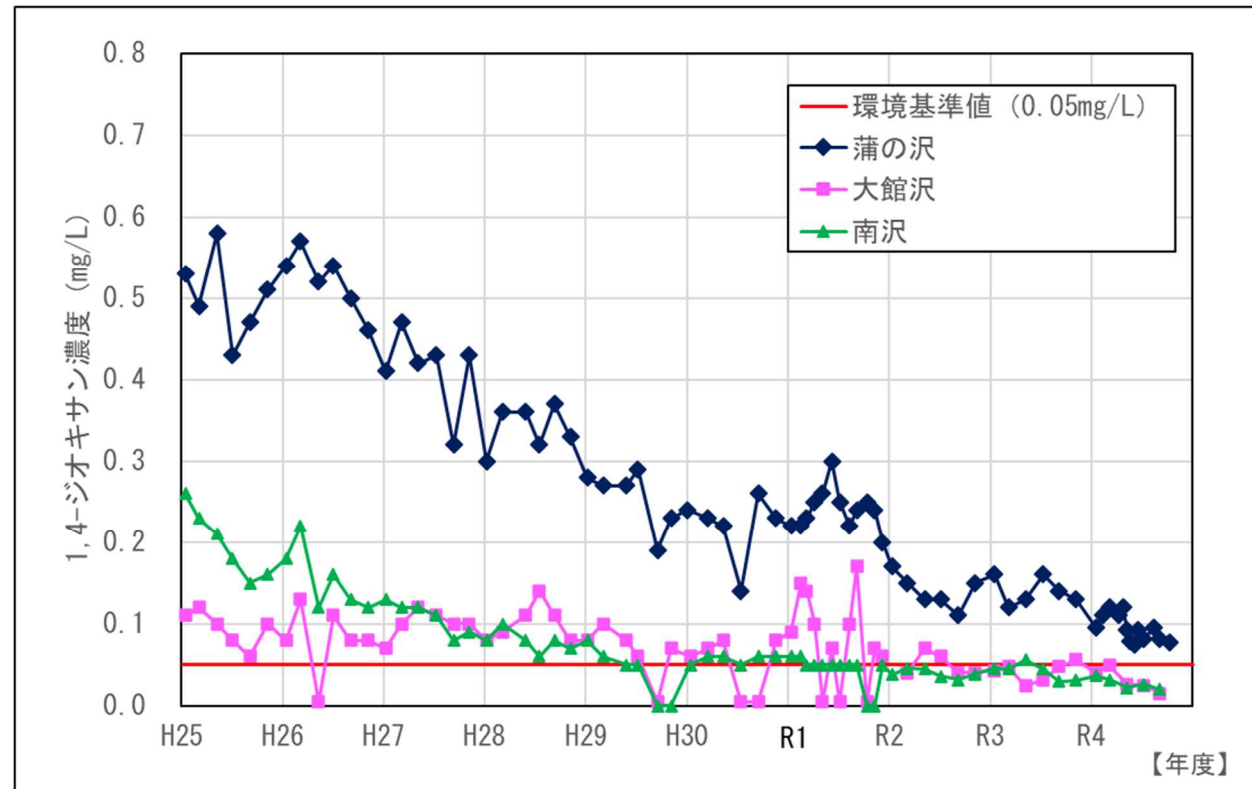
蒲の沢、南沢及び大館沢の 1,4-ジオキサン濃度（年度平均値）

年度	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
蒲の沢滲出水	1.75	1.40	1.12	0.95	0.70	0.56	0.57	0.57	0.48	0.50
南沢滲出水	2.18	1.75	1.00	0.93	0.86	0.68	0.53	0.35	0.25	0.20
大館沢滲出水	1.50	1.43	1.40	0.83	0.40	0.16	0.10	0.08	0.09	0.10

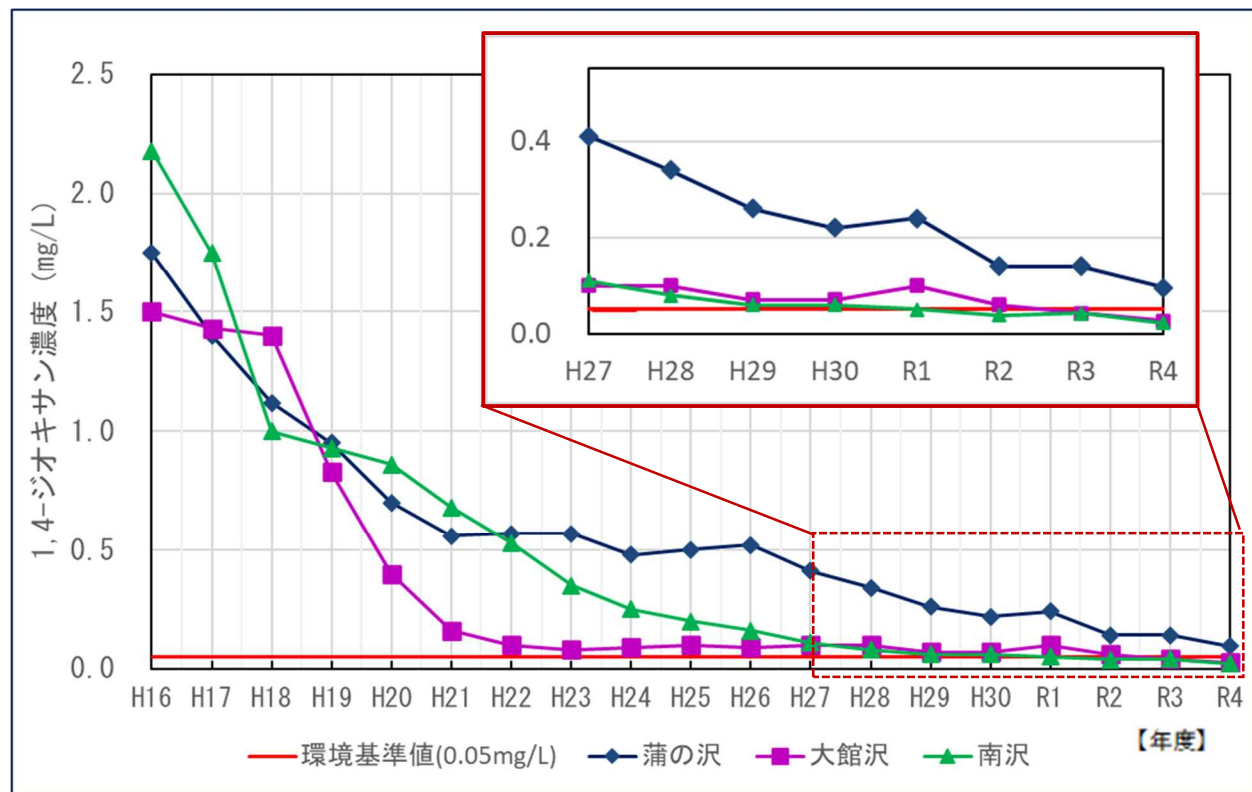
年度	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
蒲の沢滲出水	0.52	0.41	0.34	0.26	0.22	0.24	0.14	0.14	0.093
南沢滲出水	0.16	0.11	0.08	0.06	0.06	0.05	0.039	0.042	0.026
大館沢滲出水	0.09	0.10	0.10	0.07	0.07	0.09	0.06	0.042	0.029

※令和 4 年度平均値は令和 5 年 2 月末現在の値。

蒲の沢、南沢及び大館沢の1,4-ジオキサン濃度の推移（平成25年度～）



蒲の沢、南沢及び大館沢の1,4-ジオキサン濃度の推移（年度平均値）



※令和4年度平均値は令和4年12月末現在の値。

3 目標の達成状況

- 令和5年1月末時点において、南沢及び大館沢滲出水は、汚水処理等の維持管理対策や汚染拡散防止対策などにより1,4-ジオキサンを含むVOCは環境基準値以下となっている。
- 蒲の沢滲出水は1,4-ジオキサンについてのみ、低減する傾向を示しているものの、僅かではあるが環境基準値を超えて検出している。

地点	項目	目標達成の判断時期			目標達成の評価
		令和2年度末時点	令和4年8月時点	令和4年度末時点	
蒲の沢滲出水	1,4-ジオキサン除くVOC	環境基準値満足	環境基準値満足	環境基準値満足	達成 ○
	1,4-ジオキサン	環境基準値超過	環境基準値概ね達成	環境基準値概ね達成	概ね達成 △
南沢滲出水	1,4-ジオキサン除くVOC	環境基準値満足	環境基準値満足	環境基準値満足	達成 ○
	1,4-ジオキサン	環境基準値満足	環境基準値満足	環境基準値満足	達成 ○
大館沢滲出水	1,4-ジオキサン除くVOC	環境基準値満足	環境基準値満足	環境基準値満足	達成 ○
	1,4-ジオキサン	環境基準値概ね達成	環境基準値満足	環境基準値満足	達成 ○

<目標達成の判断基準等>

【当初】

- 実施計画に掲げる目標
 - 「蒲の沢、南沢及び大館沢で滲出している地下水のVOCについて、令和2年度までに環境基準値(0.05mg/L)を下回るレベルにする。」ことを目標としている。その後2年間(令和3年度、3年度)は、目標の達成状況を確認するためのモニタリング期間としている。
- 測定回数等
 - 年6回、報告下限値は環境基準値の1/10で測定する。
- 目標達成の判断基準
 - 令和2年度末時点
 - 令和2年度の平均値が、0.05mg/L未満の場合。
 - 令和3年度、令和4年度のモニタリング期間
 - 各年度の平均値が、0.05mg/L未満の場合。

【令和2年度変更】

- 目標
 - 蒲の沢滲出水中の1,4-ジオキサンについて、令和4年7～9月の測定値の平均値が環境基準値(0.05mg/L)を下回るレベルにする。令和4年10月～翌年3月までの6か月をモニタリング期間とする。
- 測定回数等
 - 令和4年7～9月の間に6回、モニタリング期間は月1回
- 目標達成の判断時期
 - 令和4年9月末時点
 - 令和4年7～9月の測定値の平均値が0.05mg/L未満の場合。
 - 令和4年10月～翌年3月までのモニタリング期間
 - モニタリング期間の測定値の平均値が、0.05mg/L未満の場合。

